

# 決算の概要

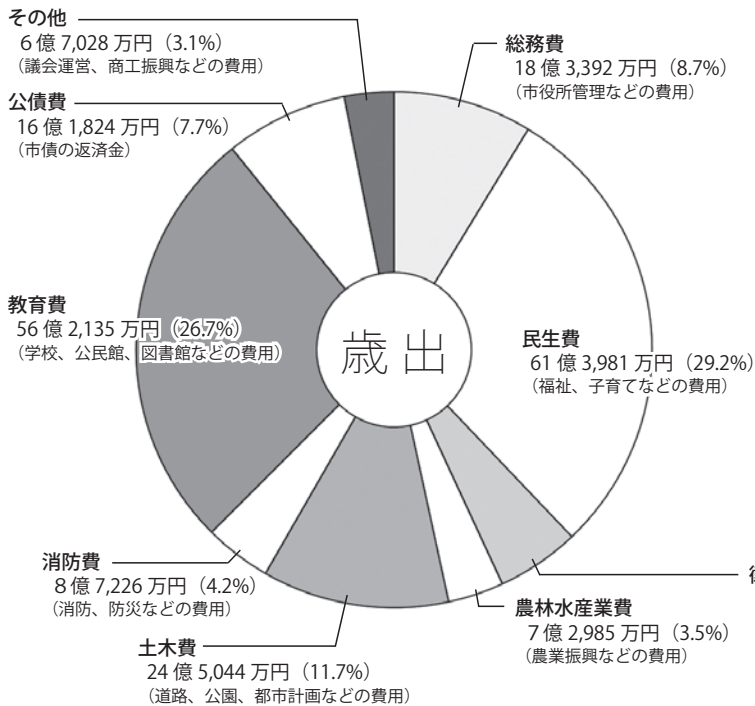
平成29年度の一般会計・特別会計・水道事業会計の決算が、市議会（第3回定例会）で認定されました。市の予算がどのように使われて、市の財政がどのような状況にあるかをお知らせします。

問 伊奈庁舎財政課 ☎58 - 2111 (内線2203)

## ■歳入歳出の差引額 7億485万円

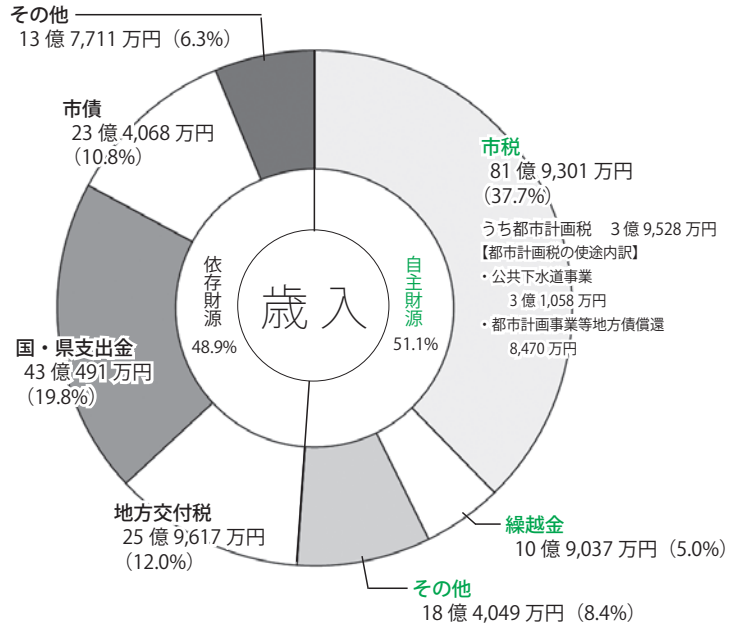
うち、次年度も継続して事業を実施するための財源  
[住宅市街地基盤整備事業（守谷小絹線）など] …  
1億875万円  
◎翌年度に繰り越す額…5億9,610万円

## 歳出 210億3,789万円 [前年比2.4%増]



## 歳入 217億4,274万円 [前年比0.5%増]

- 自主財源…皆さんから納めていただいた税金など
- 依存財源…国や県から交付されるお金や借入金など



## ■公営企業会計決算総括表

会計名	区分	決算額
水道事業	収益的収支	収入 15億18万円
		支出 12億9,820万円
	資本的収支	収入 5億8,477万円
		支出 10億3,575万円

水道事業会計は、公営企業会計です。「収益的収支（水道水を届けるために必要な経費と財源）」と「資本的収支（施設を整備するために必要な経費と財源）」の2つに分けています。資本的収支の不足分は、積立金などで補いました。

## ■平成29年度特別会計決算総括表

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	57億3,238万円	55億2,935万円
後期高齢者医療	4億4,420万円	4億4,242万円
介護保険	35億505万円	33億3,079万円
公共下水道事業	12億2,946万円	11億4,419万円
農業集落排水事業	3億5,040万円	3億2,210万円
市営分譲住宅	4,115万円	4,003万円

一般会計において、歳入で最も大きな割合を占めているものは市税で、決算額の37・7%を占めています。次いで国・県支出金、地方交付税の順となっています。歳出では、決算額が210億3789万円となり、4年連続で200億円を超えています。内訳は、福祉などの費用の民生費が29・2%を占めており、次いで教育費、土木費、総務費の順となっています。また、公債費（市債の返済金）が7・7%であり、今後、返済額の増加が見込まれます。

## ■一般会計